

みんなで作る 手づくりの発表・上映会

TVFの軌跡は市民ビデオ普及の歴史です。ビデオを市民の手に解放しようと、東京ビデオフェスティバルがスタートしたのが1979年。以後毎年催され、世界中から作品が寄せられ、映像の新たな地平を世に送ってきました。31回続いたのですが、諸般の事情で、2009年主催者が降り、新たに審査委員、受賞者、出品者、旧事務局メンバーなどで再スタートしたのが、市民がつくるTVFです。サポーター、応募者の皆様に支えられ今回で3回目を迎えます。

市民がつくるTVF2010

2010.1.30(土)日本工学院専門学校

◎ 発表・表彰式(ビデオ大賞に選ばれた3作品)



寒空の下、180名の方にご参加いただいて、盛り上がりしました。全国33都道府県から159作品が寄せられ、入賞作品上映会、発表・表彰式、交流会/NPO発足をしました。



『四世代を生きる』
藤井喜郎さん(神奈川県)



『Jack in Harlem』
佐藤公昭さん(東京都)



『コラージュージュ』
高田涼平さん/三好萌加さん(京都府)

◎ 交流会でのひとこま



市民がつくるTVF2011

2011.1.29 (土)日本工学院専門学校

◎ 発表・表彰式(ビデオ大賞に選ばれた2作品の作者たち)



海外3カ国を含む277作品の応募がありました。240名に及ぶ映像ファンを集め、日本工学院専門学校・蒲田キャンパス10Fホールにおいて上映会、発表・表彰式を開催しました。事前にメディア等に取り上げられ、初めて足を運ぶ方も多数来場。



『城南子ども放送局～城南特別支援学校～』
渡邊恭子さん(中央大学FLP松野良一ゼミ(東京都))



『近くて遠い学校』
るんみさん(東京都)

◎ 交流会でのひとこま



【審査委員】 敬称略/五十音順



大林 宣彦
映画作家



小林 はくどう
ビデオ作家
成安造形大学名誉教授



佐藤 博昭
ビデオ作家
日本工学院専門学校講師



椎名 誠
作家



高畑 勲
アニメーション映画監督



羽仁 進
映画監督

市民とともに世界のビデオファンが集う映像の祭典

市民がつくるTVF 発表・上映会開催!

Tokyo Video Festival for the people

日常の暮らしの中の喜び、怒り、悲しみ…そして願い。
市民一人ひとりの「思い」が映像となって、
メッセージとなって語りかけてくる。
市民がつくるTVF (東京ビデオフェスティバル)。
それは市民みんなのビデオによって
人の心と心を伝え合う映像祭です。



9:30～ 入賞作品上映会(開場9時)

14:00～ TVF2012発表・表彰式

- ・佳作15作品
- ・優秀作品賞15作品

15:30～ ビデオ大賞作品上映・表彰

- ・市民賞・筑紫哲也賞表彰

16:10～ 審査委員によるトークフォーラム

- ・大林宣彦(映画作家)
- ・小林はくどう(ビデオ作家)
- ・佐藤博昭(ビデオ作家)
- ・椎名誠(作家)
- ・高畑勲(アニメーション映画監督)
- ・羽仁進(映画監督)

17:45～ 誰でも参加OK! 市民ビデオ交流会(有料制)

※進行の関係等によりプログラム内容、時間等が一部変更になることがあります。

主催: NPO法人市民がつくるTVF 特別協賛: 日本工学院専門学校
協賛: テレビ愛媛ビデオリポータークラブ、星の降る里別映画学校、NPO法人湘南市民メディアネットワーク、東京視点
協力: (株)伸樹社/ビデオジャーナル、(株)玄光社/ビデオサロン、(株)スプラシア、いずみ窯、市民がつくるTVFスタッフ&サポーターのみなさん

入場
無料

2012年2月18日(土)

日本工学院専門学校
3号館 地下大ホール



NPO法人市民がつくるTVF

ホームページ <http://tvf2010.org/>

〒143-0015 東京都大田区大森西2-16-2こらぼ大森2F TEL:03-6404-6613 FAX:03-6404-6614 E-mail info@tvf2010.org

世界にひとつしかないそれぞれの作品
市民がつくるTVF2012

入賞 30 作品

市民みんなで運営するNPO法人市民がつくるTVF。
第3回目となる市民映像祭「TVF2012」には海外を含めた206作品が寄せられました。
その中から審査委員の先生方により選りすぐられた入賞30作品は、それぞれの市民の視点
で表現された世界でひとつしかないオンリーワンの傑作です。



★印 オリジナル作品はハイビジョンです。



待合室の、片隅で。

牧野竜二
NPO法人映像コミュニティ・ムーブユー
北海道 27歳
20分00秒

稚内駅は日本最北端にあり、独特の哀愁に満ちている。待合室の一角にある立ち食いそば屋で3年半もの間定点観察。評判の味を求めてやってくる旅人たちとソバ屋で働く主婦たち、束の間の会話から人生が見え隠れする。再開発で駅舎は取り壊されてしまう。

大福とカラオケ 17年半の原点

石川 勝
栃木県 57歳
16分47秒

足利事件での未熟な科学捜査による冤罪が明らかになり、服役中の菅谷さんが釈放され、無罪になった日常を密着したビデオ日記。嗜好は大福とカラオケで、自由になった嬉しさを味わう半面、元に戻らない悔しさが溢れる。氏を支援する女性と作者の絆が興味深い。

町の鍛冶屋さん ~野鍛冶の伝統を守る~

富山県立泊高等学校 観光ビジネスコース
富山県
11分35秒

道具生産が機械化される中、1軒になってしまった鍛冶屋さん。高校生たちも「鉄は熱い内に打て」と鍛冶の仕組みを体験する。高齢の大久保さんは全国でもとんぼの形をした泊鉈(とまりなた)がつけられる唯一の職人だ。野鍛冶の注文さえあれば、続けたいと願う。

ビデオ大賞

市民がつくるTVF2012を象徴する「ビデオ大賞」作品は、優秀15作品の中から審査委員会が選出した作品に贈られます。
(2012年2月18日(土)発表会にて公表)

チョコレートのヒミツ

江戸川区立 鹿骨中学校放送部
東京都
7分29秒

味ではなく児童労働を問題にした中学版ジャーナリズム。チョコレートの原料はカカオ豆だが、労働を担うのは実は幼い子どもで、西アフリカでは今でも強制労働や人身売買がある。救出されたガーナ少年、フェア・トレードチョコ、反対デモと取材が精力的に展開する。

私の格闘家な妹

箕輪 仁美
栃木県 26歳
20分00秒

姉妹は互いに無関心な関係。妹は格闘家で、姉にとっては近寄りたがたい怖い存在。姉は奇妙な関係に修復を図ろうと、ビデオをクッションにしようとする。妹の許可を得て、撮影が続き、次第に姉は2人の距離感が縮まったと感じたが、妹は言葉では無関心を装う。

キャベツとわたし

河野 壽美子
愛媛県 78歳
6分03秒

ドラマのような主婦ビデオ日記。料理に使ったキャベツの残りの芯をコップに漬けたら葉が出てきた。ある時、彼女は転倒し、右手首を骨折してしまふ。不自由なりハビリ治療に耐える彼女と使命を終えた筈のキャベツの回復する構成が面白い。生命力と老いの交差を示唆。

硫黄島から戻ったイチョウ

山下 香
中央大学FLP松野良一ゼミ
東京都 22歳
10分00秒

太平洋戦争の硫黄島で兵隊が玉砕、遺骨収集は現在も続いている。塹壕の中から1枚のイチョウが見つかった。妻から夫に宛てたもので、軍の厳しい検閲を超え、家族の想いを伝えたイチョウの葉。イチョウの手紙は家族へ戻った。軍事郵便を通して戦争の悲劇を語る。

TIME SLIP 2 ★

仙波 晃
東京都 72歳
19分22秒

1936年多摩川河川敷に最初の自動車サーキットが誕生。父親が撮影した自動車レースのフィルムを基に現在の風景と重ねたTIME SLIPを試みる。当時の観客席は今でも遺跡のように残っており、自動車レースが丁寧に復元される。戦後の食料難、畑と化した時代も蘇る。

子ども達が教えてくれたこと

白木 美和
山口県 41歳
17分36秒

過保護や安全管理ではない、健やかに育てたい教育の原点が見えるレポート。小人のおうちえんでは子どもたちのしたいことを徹底的にやらせようの方針だ。子どもたちは自分で選択したことにとても意欲的で、自然の中で自主的に考えながら行動する成長振りに驚嘆する。

じいちゃんとうなぎ

長妻 洋
茨城県 73歳
7分00秒

家族ビデオ日記。孫娘たちが夏ばて気味で、健康回復を願い、心のこもった鰻を食べさせたいと願う作者は近くの堀川で、挑戦するが、釣れない日々が続く。ギリギリで収穫があり、蒲焼が間に合った。釣りをする作者と通行人とのやりとりや独特の語り光る。

閉ざされた65年前の惨禍 ★

松田 治三
広島県 74歳
9分57秒

妻は幼い頃広島で被爆をした。夫は孫たちの平和教育のためにビデオにしようとするが、妻は背を向け、決して応じない。思い出したくもないという。新婚当時間いた記憶を頼りに検証を試みようとした原爆紀行。被災の実体験者が極端に減っている今、貴重な体験資料である。

筑紫哲也賞

日本を代表するニュースキャスター、ジャーナリストとして高く評価された故・筑紫哲也氏のご遺族のご厚意により贈られる特別賞です。入賞30作品の中から選出されます。(同左)

炎天下の絆

黒河 貫
愛媛県 72歳
9分28秒

こちどりの巣を発見した作者は孵化の様子の撮影を続ける。ところが異常に暑い6月で、誕生したばかりの雛は日陰を求めて、カメラのレンズフードの陰を見つけて入ってくる。そして親も。夫婦喧嘩に雛が仲裁に入るなど、小鳥自らが演技をしているようで、絶句。

恋情蔵書印

村上 直子
滋賀県 23歳
6分50秒

アートドラマ。図書館司書に一方向的に恋した女子の心情を吐露した語りうまい。仲良くなるために図書館通いを続けるが、肝心の読書には、ページをめくるが読めない。夢の葛藤が刻んだり、判子、時計、花びら、蛾、などアニメーション表現が広がる。

手づくり歌舞伎の「わ」 ★

蒲 宏樹
東京都 64歳
19分38秒

コミュニティの魅力を探って、あきる野市に伝わる農村歌舞伎「菅生一座」に密着。町内会運営で資金は住民ぐるみでの資源ごみの回収。住民総出による組み立て舞台づくりが圧巻で、荒縄縛りで丸太を縛り、今回は竹屋根が復活した。かつらも舞台衣装も手作りだ。

子どもたちを放射能から守れ 福島たたかい

湯本 雅典
東京都 57歳
20分00秒

ビデオは社会のコミュニケーションツールになり得るのか。原発事故から2ヶ月たった福島の子もたちは公園で遊べないでいる。親たちの願いと腹に、放射線安全基準数値や除染の見解のずれが明らかになり、対話ではなく対立しがちな集いをレポートする。

市民賞

市民がつくるTVFホームページで配信上映される入賞30作品の中からNPO法人市民がつくるTVFサポーターによる投票により選出される特別賞です。(同左)

佳作

はらぺこ~Hungry Forest~

神奈川県立 弥栄高等学校 ARTLIVE 11
神奈川県
19分59秒

ミュージカルと映像を軸に、ファッション、サウンド、CG、などハイパーメディアな表現の高校生ARTLIVE。転校生のクラスでの孤立と学校に迷い込んだ腹ぺこの母熊の死をモチーフに、お互いの苦しみや悲しみの対話がコンセプト。東日本の被災者の絆を連想した。

FtM
~僕はまだ自分を呼ぶ言葉を知らない~

加藤 秀樹
埼玉県 52歳
20分00秒

俳優養成所での最初の授業は自己紹介。FtM(性同一性障害)だとカミングアウトしてしまっ一人の受講生。女子に生まれたが、男になりたくて、FtMの秘密で苦しんできた過去が明らかになっていく。実話を元に、インタビューを織り交ぜたドキュメンタリードラマ。

母と娘 絵手紙との出会い

石塚 祐輔
栃木県 79歳
5分15秒

89歳で亡くなるまで母親と娘の絵手紙交換を続けたエピソード。遠く離れた母子は会うことも憚らず、思いついたのが絵手紙。母から母の草花を綴った返事が届き始める。素朴な絵や文字に表現の豊かさを感じ、心のこもったコミュニケーションが広がる。

消えてしまった養蚕技術

藤井 喜郎
神奈川県 73歳
17分00秒

神奈川県は「絹の道」があるほど、絹が栄えたが、2011年、県は助成金を打ち切り、県内から全養蚕農家が壊滅した。作者は知り合いの農家を訪ね、荒れ果てた桑畑の惨状として浮かぶ。「養蚕」が途絶えたことを嘆く。伝統の「養蚕作業」がしっかり収録されている。

うなぎ

青柳 完治
群馬県 80歳
6分13秒

川柳のユーモアに溢れている。世相を反映させながら、節電生活の夏の、年寄り夫婦の日々の年金生活を綴った日記で生活の知恵の発想が興味深い。経済的に太陽光エネルギーでお湯を沸かせたラーメン作りも簡単だ。チラシで見つけた特売のうなぎを連日食べ続ける。

ヤミトリドリノセカイ

日本工学院専門学校 放送・映画科 (監督 大崎良輔)
東京都
11分16秒

現代の混沌を批評しようとしたオムニバスドラマ。幼子の「どうして空は青いの」の問いに、老人は「真っ黒く見える」と対比的に答える。闇と光、天国と地獄、戦争と平和、愛と死、有と無、映画と闇などが交わりの対話がコンセプト。東日本の被災者の絆を連想した。

蘇る写真、そして記憶 ~津波に飲まれた思い出の復興~

東京大学大学院 情報学環・学際情報学府 ドキュメンタリー映像制作1班
東京都
7分40秒

お金で買えないのが記憶で、写真もそのひとつ。山元町は津波災害で、多くの住宅が流出した。支援活動のひとつに「思い出サルベージアルバム」プロジェクトがある。廃墟で集めた写真アルバムを丁寧に泥から洗浄し、持ち主に返そうとする活動の裏方を追う。

DAN☆KETSU

北星学園 余市高校放送局
北海道
8分13秒

ユニークな教育で知られる高校に、入学生徒は高校中退など年齢、出身地が様々。研修での体験が「団結の木」で、6人が座布団の上に乗る、抱き合って20分間耐えるという伝統の集団ゲームだ。拒否していた女子も、先輩の説得で参加することになる。弱い自分からの脱皮できるか。

雪山のライチョウ

薩摩 浩子
神奈川県 24歳
5分19秒

ほのぼのとした手描きタッチと吹雪の実写合成のアニメーション。猛吹雪の雪山で、男は遭難しかける。意識が次第に遠のく中、家庭での彼を待つ家族や、暖かい浴が幻覚として浮かぶ。一羽のライチョウが現れ、男の体温を暖めてくれたお陰で、男は無事ヘリコプターで救出される。

簡単に卒乳させる100の方法

佐藤 健人
東京都 27歳
10分00秒

ビデオも家族となった可笑しい育児日記。出産してから、夫が主夫業に専念している。離乳期を迎えても、一向に卒乳しようとしないうちに親はいるいる試みが失敗。乳首に絆創膏を貼ったり、妻から隔離して大島行きの船に乗るなど大プロジェクトに発展する。

本人を証明

池田 稔
栃木県 65歳
10分00秒

4面マルチ。最近、サギ事件のせいか、貯金や保険の解約などで、本人証明が厳しく求められるようになった。死亡の場合は簡単に処理されるのに、配偶者が病などで意識不明になり、委任状が書けない場合、どうすればいいの。制度のいい加減さを問題提起する。